

2026年度第5回 J A北海道厚生連 帯広厚生病院倫理審査委員会 会議の記録概要

倫理審査委員会 事務局

開催日時	2026年8月6日（木）
開催場所	スキルラボ
審査委員名	高村 圭「委員長」、加納 崇裕、山内 英智、吉田 晃 鈴木 千波、後藤 真澄 外部委員：北村 延夫、岩田 明子
委員数	審査委員数：8名／全委員数：10名
審議課題：審議結果を含む主な議論の概要	

研究課題番号	2026-035
審議案件名	Uncommon mutationを有するEGFR遺伝子変異陽性の非扁平上皮がん患者に対する治療実態に関する多施設共同後ろ向き観察研究（HOT-Next001/HOT2501研究）追加解析：HOT2501_A I 研究
実施責任者	呼吸器内科 主任部長 菊池 創
審議内容	【迅速審査】 本件は、札幌医科大学付属病院および北海道肺癌臨床研究会の共同研究機関にて、Uncommon mutationを有するEGFR遺伝子変異陽性患者に対し、EGFR-TKIを投与された症例を対象として後方視的に臨床情報を集積する後ろ向き観察研究であり、既存情報のみを用いて実施する学術研究である為、研究対象者の安全性を脅かすことはないことから迅速審査と判断した。
審議結果	承認

研究課題番号	2026-036
審議案件名	実地診療における既治療小細胞肺癌に対するタルラタマブの安全性と有効性を検討する多施設共同観察研究（HOT2601A）
実施責任者	呼吸器内科 主任部長 菊池 創
審議内容	【迅速審査】 本件は、タルラタマブの実施診療での有効性、安全性を明らかにしタルラタマブの効果予測因子を明らかにする多機関共同観察研究である。本研究は既存の試料を基に行う後ろ向き観察研究であり、研究対象者の安全性を脅かすことはないことから迅速審査と判断した。
審議結果	承認

研究課題番号	2026-037
審議案件名	農作業中の上肢外傷における損傷機序と重症度の関連 -農作物および作業工程別の後ろ向き観察研究-
実施責任者	医療技術部作業療法技術科 山本 和洋
審議内容	【迅速審査】 本件は、2017年4月から2026年3月までに農作業中の農業機械による上肢外傷を受傷した患者を対象とした後ろ向き研究である。 本件は、既存情報のみを用いて実施する学術研究であり、研究対象者の安全性を脅かすことはないことから迅速審査と判断した。
審議結果	承認

研究課題番号	2026-038
審議案件名	当院における神経難病症例に対する内視鏡的胃瘻造設術（PEG）についての検討
実施責任者	消化器内科 柳澤 秀之
審議内容	【迅速審査】 本件は、当院における神経難病症例に対する内視鏡的胃瘻造設術（PEG）についての症例報告許可申請である。 本件は、既存情報のみを用いて実施する学術研究であり、研究対象者の安全性を脅かすことはないことから迅速審査と判断した。
審議結果	承認

研究課題番号	2026-039
審議案件名	持続性確保に向けたICT遠隔連携の標準モデル創出事業
実施責任者	整形外科 主任部長 安井 啓悟
審議内容	【迅速審査】 本件は、厚生労働省による診療科偏在対策の為の適切な遠隔医療等推進事業が日本整形学会に委託され、整形外科遠隔診療の導入、実装を通じて、国内オンライン診療導入に向けたガイドライン作成に資するエビデンスを構築する前向き研究である。本件は前向き研究であるものの、研究対象者の自由意思による同意を得ること、安全性を脅かすことはないことから迅速審査と判断した。
審議結果	承認

研究課題番号	2026-040
審議案件名	V A-E CMO施行中の重症肺塞栓症患者に対する肺動脈カテーテルからのモンテプラーゼの投与およびその症例報告について
実施責任者	救急科 医長 加藤 史人
審議内容	【迅速審査】 本件は脊髄性筋萎縮症で当院神経内科かかりつけの患者が肺血栓によるショックを発症した症例において、投与経路が適応外であるが、状態が悪く一刻を争う状況であったため家族へ口頭で説明しクリアクターのスワン・ガンツカテーテル経路による肺動脈投与を行った症例である。適応外診療であることと今後は同意説明文書の提出が必要であることから通常審査と判断した。
審議結果	承認